韓国朝鮮語の基礎知識

1．韓国語について

韓国語を勉強している多くの人は、それを通じて日本をより正確に理解するようになったといいます。古代の日本文化における韓半島の影響はいうまでもなく、中世にも朱子学をはじめ金属活字・陶磁器等が豊臣秀吉の侵略戦争（韓国では壬辰倭乱といいます）を通じて日本に伝わったことは特に有名です。そもそも７・８世紀までは日本語も韓国語もその区別がなかったといわれています。なるほど、古代の尨大な文化の流れを考える時、言語の障壁があっては不可能であったろうと思われます。「味噌」、「まつり（祭）」、「てら（寺）」、「さむらい（侍）」までも古代韓国語から来たといわれると、皆さんはさすがに驚くでしょうね。

それではここで、日本語との類似点を挙げることで韓国語の簡単な紹介とします。

①語順が日本語とほぼ同じです。
②日本語と同じくテ・ニ・ヲ・ハと言った助詞があり、その使い方もきわめて似ています。
③用言（動詞、形容詞など）が語尾活用するのも同じです。
④漢字語（漢字で書ける単語）が多く、日本語との共通性が高いです。
⑤尊敬語が非常に豊富です。
⑥欧米語に多く見られる名詞の性の区別がありません。

結論的にいえば、韓国語は日本語と非常によく似ていて、大変アプローチしやすい外国語なのです。

그　분의　얼굴에는　특징이　있습니다.

그 [kɯ]…その
분 [pun]…方　의 [e]…〜の（助詞）
얼굴 [ɔlgul]…顔　에는 [enɯn] …〜には（助詞）
특징 [tʰɯkʔtʃiŋ]…特徴（漢字語）이 [i]…〜が（助詞）
있습니다 [iʔsɯmnida]…あります

いかがですか。単語をつなげば、「その方の顔には特徴があります」という日本語の文章になります。ただ、日本語に比べれば母音の種類がかなり多いので注意する必要があります。

2．ハングルについて

韓国の文字であるハングルは15世紀の中葉1443年に制定され、1446年に「訓民正音」という名称で公布されました。朝鮮王朝第四代王の世宗（セジョン）の時のことです。それまで使っていた文字は漢字ですが、一般庶民には手が届かないもので、少数の上流階級に独占されていました。『訓民正音』の冒頭の序文に当たる部分に漢字とは別個の民族固有の文字を創製した動機と目的が簡潔に述べられています。

世宗大王

すなわち、

「国の語音が中国と異なって文字では相流通することが出来ない。故に民が言いたいことがあっても、ついにその情を表わすことが出来ない者が多い。予はこれをあわれみ新し

く二十八字を作り、人々に習い易く、日常の用に役立たせようとする」（意訳）
という内容です。

ハングルはアルファベットと同じように子音字と母音字で構成されている音素文字です。子音字は発音器官を象って基本字を作り、さらにそれに画を加えて残りの字を作り、母音字は性理学の概念から天･地･人を持ち出し、それを形象化した、･（天）、ㅡ（地）、ㅣ（人）で構成されています。後に･は短い線に変わり、現在のㅏ、ㅑ、ㅓ、ㅕ、ㅗ、ㅛ、ㅜ、ㅠ、ㅡ、ㅣの基本母音十個が使用されるようになり、子音字の十四と合わせて二十四の字（創製当時より四つ減る）を基本字としています。

ハングルは音節単位でまとめて書く文字です。音節を三つの構成部分、つまり初声、中声、終声に分け、子音字は初声及び終声、母音字は中声として用いられます。このように音素文字と音節文字の二つの側面をあわせ持っているのもハングルの特徴です。

ㅅ [s] 初声
산　ㅏ [a] 中声
[san]　ㄴ [n] 終声

ハングルは自国の言語を書き表わすために、その音韻体系を科学的に研究し、まったく独創的に作った韓民族固有の文字であります。

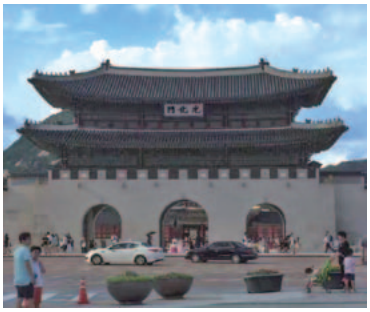
3．ハングルのあゆみ

「訓民正音」という名前で制定されたこの文字は苦難の歴史を歩むことになります。すなわち、新しい文字が発表されても公式的文字はいぜんとして漢字であって、知識人が新しい文字を使うことはありませんでした。「真書」たる漢字に対してこれが「諺文」という卑称で呼ばれたり、また男子が使う「漢字」に対して婦女子が使う文字だとして「アムクル」（女文字）と呼ばれました。

19世紀末、開化期になって、民族意識の高まりとともにやっとこの文字は「国文」と呼ばれるようになりました。ハングルと漢字がまじった官報や教科書が登場し、またハングルだけで書かれた新聞や小説も刊行されるようになりました。

日本に国を奪われた期間（1910年～1945年）には不当な民族文化抹殺政策により徹底した弾圧を受けて、末期には韓国語の使用禁止まで強要されました（1942年）。しかしその中でも民族主義学者たちの手によってハングルの研究は中断されたことはありませんでした。ハングルという名前もその過程で確立されたもので、「ハン」は「大きな」、「グル」は「文字」、つまり「大いなる文字」の意味です。1945年、日本の敗戦により民族の独立を迎え、ハングルは名実とも「国の字」として全国民が使うようになりました。創製から約５百年、その間消滅されることなくついに国の文字としての栄光ある地位を確保できたのは、なによりもハングルがもつ科学性･独創性に基づく強い生命力があったからだといえます。

今、韓国人が自国の文化遺産の中で最も誇りに思うのは、ハングルです。



光化門